

会議録

会議の名称	西東京市中学校給食弁当外注販売運営協議会（第1回）
開催日時	平成24年2月9日（月曜日）午後3時から午後4時まで
開催場所	保谷庁舎保谷庁舎別棟B会議室
出席者	委員：山本会長・三上委員・田中（沖子）委員・福間委員・加藤委員・向井委員・田中（智子）委員・佃委員・木崎委員・藤澤委員 欠席：林委員 事務局：矢澤係長・近藤主任
議題	1 西東京市中学校給食弁当外注販売運営協議会について 2 利用状況について 3 その他
会議資料の名称	1 西東京市中学校給食弁当外注販売運営協議会設置要綱 2 西東京市中学校給食弁当外注販売運営協議会名簿 3 弁当外注販売実施状況（平成23年4月分～平成24年1月分） 4 平成24年2月分西東京市中学校外注弁当献立表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>委員及び事務局自己紹介 事務局より、要綱の規定に基づき学校運営課長が会長を務めることを説明。 （一同了承）</p> <p>議題1 西東京市中学校給食弁当外注販売運営協議会について 事務局より、以下説明。 要綱により設置されたこの協議会は、給食弁当外注業務に関する事項について協議される場である。 給食弁当外注販売は、合併による西東京市誕生時、中学校給食の実施を望む声がある中、財政状況を勘案し完全給食に代わるものとして、平成14年12月から田無第一中・保谷中の2校で試行実施し、15年9月より全校実施した。これまで、約10年間中学校で利用されてきたが、昨年5月から田無三中、田無四中、明保中学校の3校で完全給食に移行し、平成24年5月下旬からは残る6校の中学校でも完全給食に移行する。これに伴い、中学校での弁当外注販売は終了することとなる。</p> <p>議題2 利用状況について 事務局より、以下説明 今年度の喫食率は、全校平均で3パーセントから4パーセント程度で推移している。昨年度の喫食率より若干増加している。</p>	

討議内容（委員の発言）

- ・献立の中でカツカレーは人気のあるメニューで、普段の2倍くらいの注文がある。栄養バランスを考えて献立作りをしてもらっているため、カツカレーばかり出すわけにはいかない事情がある。
- ・保護者としては、朝の時間的な制約がある中で外注弁当があることはありがたい。
- ・短い休憩時間の中で別室に注文に行かなければならず、少々面倒である。
- ・弁当箱が運ぶ際にとれないような形状のものであればより運びやすい。
- ・学校によっては、外注弁当は男子が頼むものという雰囲気がある。
- ・10時頃までに注文をしなければならず、それを忘れてしまうため、家庭弁当を持参する生徒も多いのではないか。
- ・小盛の注文は女子に多いが、男子の中にもダイエットとして小盛を注文する生徒がいる。
- ・給食センターとしては、中学生の嗜好や栄養バランスを考慮して献立を作成している。残渣の調査を行い、献立作成に活かしている。野菜についてはよく食べているという印象がある。
- ・ある中学校では、朝食の喫食率が高いが、現在は給食ではなく家庭弁当を家で作っているおり、残ったものを朝食として提供できているため、ということも理由の1つだと考えられる。今後中学校給食が開始されるとどのようなようになるか心配な面もある。
- ・中学校給食の詳細について、もっと保護者へ周知した方がよい。

議題3 その他

会長より、以下説明。

中学校完全給食について、未実施の中学校6校で24年5月から完全給食に移行するための整備を23年度中に完了予定である。中学校給食では、家庭弁当との選択性を予定している。親子給食方式での実施だが、基本は今の小学校給食の質を落とさないで実施する方針である。

この協議会は、弁当外注販売の終了に伴い、役割を終えることから、今回が最後の開催となる見込みである。

委員一同より、これまで弁当外注販売事業に協力いただいていた田無給食センターに感謝の意を伝えた。

会長より、会議終了のあいさつ。